

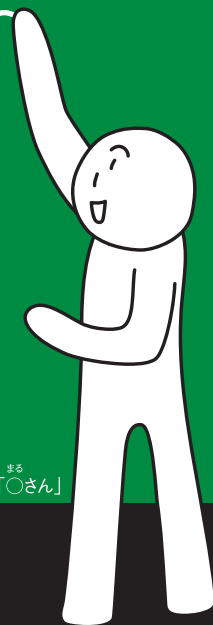


LAST SNOW
札幌国際芸術祭
SIAF2024

SAPPORO INTERNATIONAL
ART FESTIVAL
Uta Mōtai no Akari nite Sapporo ota Ukiyaga

サイアフ
SIAFスクール | つながる×ひろがる×学校

アーティストによる 出前授業の参加校を 募集します!



SIAF2024コミュニケーター「まる○さん」

札幌国際芸術祭とは？

札幌国際芸術祭(略称:SIAF)は、3年に一度、札幌で世界の最新アート作品に出合える特別なアートイベントです。次回芸術祭・SIAF2024は、アート、テクノロジー、サイエンスが交差する新しい表現や先進的なアイデアを持つ作品・プロジェクトを紹介しながら、「LAST SNOW」というテーマのもとに未来を考えます。

会期:2024年1月20日(土)~2月25日(日)

会場:未来劇場[東1丁目劇場施設(旧北海道四季劇場)]など、札幌市内6会場で開催予定。

サイアフ
SIAFスクールとは？

SIAF2024では「教育」をキーワードに、会期前からさまざまな体験によって好奇心を掻き立てる学びの場「SIAFスクール」を開校することになりました。この一環として「つながる×ひろがる×学校」と題し、札幌市内の小中学校を対象に「①子ども向けワークショップ(P.2)」及び「②教職員向けワークショップ(P.3)」を実施します。SIAFに関わるアーティストが学校を訪問し、プログラミングを活用した新しい創作体験やデジタルによる芸術表現に触れる機会をつくります。



<https://2024.siaf.jp/school/>
(4月13日オープン予定)

○SIAF2024における子ども向けプログラムや学校に関係するプログラムの全体像



1 SIAFスクール | つながる×ひろがる×学校 子ども向けワークショップ

アーティストによる出前授業「自分だけの雪の結晶」をプログラミングで制作しよう!

●実施内容

小中学生でも簡単に扱えるテキストプログラミングのウェブアプリケーションで「自分だけの雪の結晶」を制作するワークショップです。世界にひとつしかない雪の結晶が制作でき、プログラミング的思考を養いながら、雪国ならではのデジタル表現を自ら生み出す体験を提供します。制作した雪の結晶は、SIAF2024の会期中、ワークショップの成果として芸術祭の会場で披露する予定です。

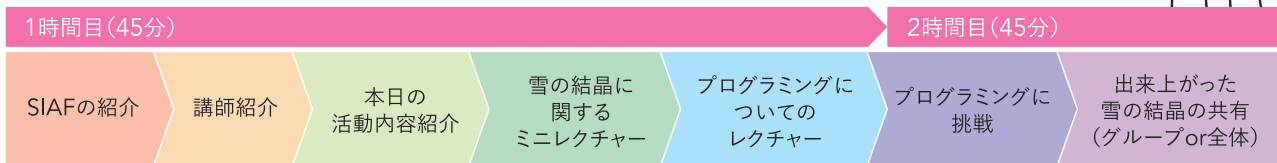
●所要時間:90分～100分(授業2コマ分程度) ●授業の位置付け:図工、美術、総合的な学習の時間など

●ねらい

本ワークショップを通して子どもたちは、札幌の暮らしの中にある「雪」を豊かに捉え、新しい気づきや発見を得ることができます。具体的には、雪の構造について知り、考えることで、未来に繋がる創造性や多様性を学べます。加えて、汎用的なテキストプログラミング(JavaScript)を小中学生でも簡単に扱えるようカスタマイズしたプログラミング環境を使用することで、コンピュータと対話するようにデジタルの基本に触れ、プログラミング的思考も養うことができます。



●授業の流れ(例)



●応募要項

参加人数や学級数についての指定はありませんので、希望する人数や学級数を応募用紙にご記載ください。

対象学年:小学3年生～中学3年生

募集校数:10校程度

応募期間:2023年4月15日～5月31日

参加に必要な環境:

実施期間:2023年7月1日～10月31日

①パソコン(1人1台)

Chromebook/Windows/iPad等、キーボード付きの端末

②インターネット環境

●応募から実施までの流れ

① 応募用紙をSIAF事務局にメールで送付してください。(宛先:operation@siaf.jp) ※5月31日締切(先着順)

② SIAF事務局から学校にご連絡し、打ち合わせの日程を決めます。

③ 実施内容や実施日などの詳細を打ち合わせます。

④ 事務局が講師と日程を調整し、実施日を確定させ、学校にご連絡します。

⑤ ワークショップ実施

※ワークショップで制作した「自分だけの雪の結晶」のデータは、講師の「フジ森」の構成により、SIAF2024会場において披露する予定です。



講師(アーティスト) フジ森(Fujimori / アートユニット)

フジ森は、藤木淳と藤木寛子の夫婦によるインタラクティブ・アート・ユニット。構想はそれぞれで持ち寄り、藤木淳がインタラクティブ設計、藤木寛子がビジュアル構成を担当し、鑑賞者参加型のアート作品を展開している。藤木淳は独自のアルゴリズムに基づくインタラクティブ作品を制作。藤木寛子(清水)は実物のシルエットとモノクロのアニメーションを融合させたインスタレーション作品等を制作。2014年より合作を始め、2019年よりユニット名をフジ森とした。 <https://www.fujimori.website>

② SIAFスクール | つながる×ひろがる×学校 教職員向けワークショップ（教職員研修／校内研修）

ウェブアプリケーション活用講習会

●実施内容

ウェブアプリケーションで「自分だけの雪の結晶」を制作するワークショップを、教職員が授業で活用するための講習会です。講習会では、ワークショップの意図やウェブアプリケーションの使い方のほか、SIAF2024についても説明いたします。プログラミングに興味がある、まずは知ってみたいという方はもちろん、ワークショップを自主的に実施したい方に是非ご活用いただきたい講習会です。例えば、複数の先生が講習会に参加することで、複数のクラスでワークショップを同時に実施していただくことができるようになります。



●所要時間：90分 ●講師：SIAF事務局マネージャーまたはフジ森(Fujimori / アートユニット)

●応募要項

対象：小学校または中学校の教職員

応募期間：2023年4月15日～5月31日

実施期間：2023年7月1日～10月31日

募集校数：若干校

会場：勤務校（又は、別途相談）

実施までの流れ：

「①子ども向けワークショップ(P.2)」と同様
（6月中に事前の打ち合わせを実施）

参加に必要な環境：

①パソコン(1人1台)

Chromebook/Windows/iPad等、キーボード付きの端末

②インターネット環境

※校内研修でご活用ください。

※参加人数が少ない場合もお申し込みいただけますが、実施方法についてはご相談させていただくことがあります。

※実際に授業で本ワークショップを活用いただく際には、参加する児童・生徒用のパソコン(1人1台)とインターネット環境が必要となります。

③ SIAFスクール | つながる×ひろがる×学校 オンライン参加型プログラム（準備中）

雪の結晶プログラミングオンライン

SIAFスクールでは他にも、ご家庭等からアクセスできるウェブアプリケーションの公開準備を進めており、同アプリケーションで制作した「自分だけの雪の結晶」を公募プログラムとして広く募集する予定です。

募集時期：2023年7月～10月 対象：小学生及び中学生

「教育喫茶」のご紹介

SIAFスクールアドバイザーの佐藤正範（北海道教育大学 未来の学び協創センター特任講師）を中心に、プログラム開発や運営に関わるメンバーと、教育に関わる先生や学生、アーティストなどが集い、地域・学校と芸術祭との連携を探りながら、教育とアートに関する課題や可能性を話し合うコミュニティです。実験的なプログラムを作ったり、体験したりする中で、「これからの教育」を共に考え創造するプラットフォームとして機能していくことを目指しています。「教育喫茶」では随時参加者を募集しています。ご興味のある方は下記[お問い合わせ]先までご連絡ください。

